Access

電　車　西武池袋線「大泉学園」駅下車　徒歩 8分

バス停
- 吉祥寺駅(武蔵関経由)より「新座営」行「大泉学園駅南口」行
- 西荻窪駅(上石神井経由)より「大泉学園駅南口」行
- 上石神井駅より「長久保」行
- 阿佐ヶ谷駅より「長久保」行

2023（令和５年度）

生徒募集に関する学校説明会日程

第１回　7月15日（土）

第２回 10月14日（土）

本校の合格実績はこちらへ

変更の可能性がございますので、
必ず詳細は本校ウェブサイトをご確認ください。
海外教育相談者対象の相談は、
メールまたは電話で説明受付けております。

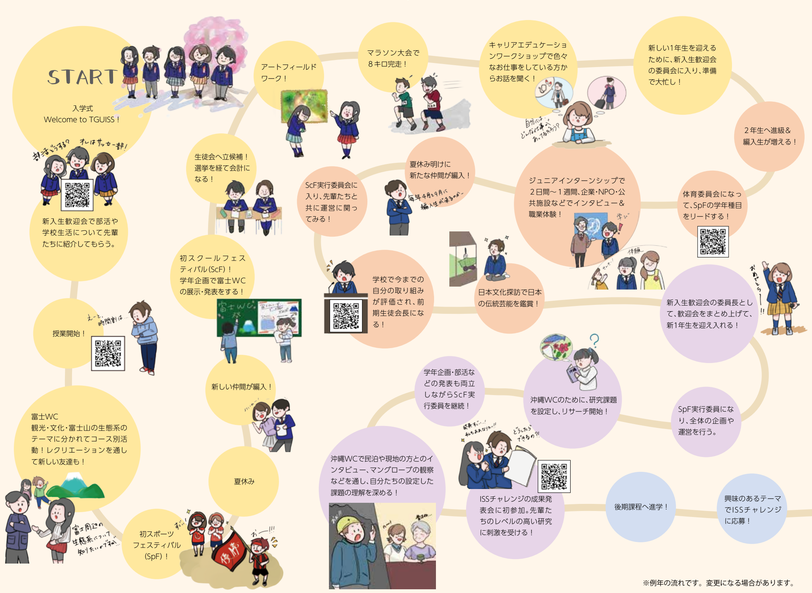
2024年度 入学選抜検査について

入試の種類	第一学年 4月入学選抜検査		編入学選抜検査	
	A方式	B方式	4月編入学	9月編入学
募集人数	約30名	約30名	第2～6学年 各学年数名	第1～5学年 各学年数名
審査内容	書類審査 外国語作文[1] 基礎日本語作文 面接（集団面接）	書類審査 外国語作文[1] 適性検査Ⅰ 適性検査Ⅱ 面接（集団面接）	書類審査 外国語作文[1] 基礎日本語作文 面接（集団面接）	
応募資格	①該当学年相当の年齢である者 ②次のａかｂのいずれか ａ 国内小学校を卒業する見込みの者 ｂ 日本の義務教育6カ年終了相当の教育を受けた者		①該当学年の年齢である者（第1～3学年） 該当学年以上の年齢である者（第4～6学年）[2] ②帰国後または来日後1年以内（後期課程では4年4月を除いて半年以内）の者 ③海外にある教区機関に在籍していた期間が連続して1年間と1日以上の者	
募集要項公示日	2023年9月16日（土）			2024年4月下旬予定
願書受付	2023年12月22日（金）～2024年1月5日（金）予定			2024年5月下旬予定
選抜試験	2024年2月3日（土）予定			2024年6月下旬～7月上旬予定
合格発表	2024年2月7日（水）予定			2024年7月上旬予定

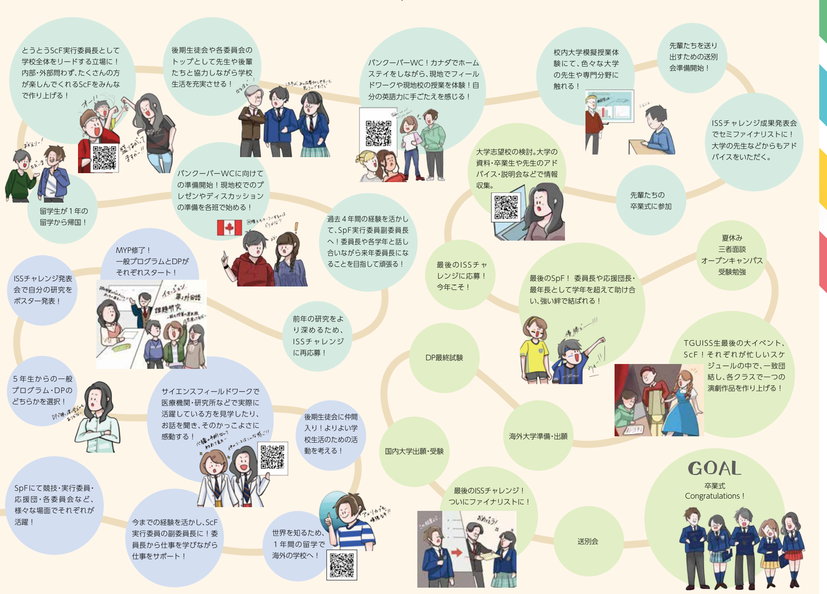
※1：外国語作文で使用できる言語は、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語（簡体・繁体）、韓国・朝鮮語のいずれかです。
※2：後期課程（第4～6学年）への応募資格の詳細については、募集要項をご参照ください。

東京学芸大学附属国際中等教育学校

〒178-0063　東京都練馬区東大泉５－22－１
TEL 03-5905-1326　FAX 03-5905-0317
URL http://www.iss.otsuimi.u-gakugei.ac.jp
E-mail office@tguiss.jp ／ admissions@tguiss.jp（入試問い合わせ専用）



※例年の流れです。変更になる場合があります。



Educational objectives

TGUISSの目指す教育

1. 世界に生きる学力と教養を身につけよう。
   The school will help students to acquire global knowledge.
2. 多様な表現力やコミュニケーション能力を育もう。
   The school will help students to strengthen communication skills.
3. 知・心・身体のバランスを大切にして成長し続けよう。
   The school will help students to mature in knowledge, mind and body.
4. 多様性の尊重を認識するとともに、寛容性・耐性（トレランス）を育もう。
   The school will help students to appreciate diversity and foster acceptance, empathy, tolerance and respect.

Ability to grow

育てたい資質能力

ISSでは様々な教育活動を通じて
以下の 4 つの資質を持った生徒を育てます。

1. 現代的な課題を読み解く力
2. 対話を通じて人との関係性を作り出す力
3. 知識とイメージを自分で再構築する力
4. 異文化への寛容性・耐性

TGUISS
Tokyo Gakugei University
International Secondary School

東京学芸大学
附属国際中等教育学校
校長 荻野 勉

特色ある教育活動

探究的・主体的な学習

本校は1年生から4年生まで、全ての生徒が国際バカロレア（IB）Middle Years Programmeのカリキュラムに則り学習活動を行っています。生徒が主役となり、自ら調べ、考え、話し合い、自らの理解や意見を適宜出しています。また、後期課程では課題研究や理数探究の時間を活用し、授業や課外活動を通じて関心を持ったテーマについて、自ら理解を深め、研究し、最終的には自らの研究成果を外部へ発信します。

多様で充実した英語の授業

前期課程では英語の授業が週4時間、英語「で」様々な現代課題について学ぶ2の時間が週2時間あります。後期課程では、週最大8時間の英語の授業に加え、第2外国語や英語以外の科目のイマージョンの授業など、選択肢は様々です。

進路に応じた幅広い選択肢

後期課程ではそれぞれの進路に合わせて授業を組み合わせることが可能です。オール生徒で理科の基礎科目全てを履修できますし、また、英語資格試験対策・海外語学漬慣・小論文対策など、それぞれのニーズに合わせて選択ができます。

課題に向き合い問題解決のできる力を育もう

本校は2007年創立の若さあふれる男女共学の中等教育学校です。「グローバルな視野の育成」「多文化共生の教育」「多様性と共通の価値・ルールの確立」「社会参加を通じた市民性の育成」などを教育理念とし、中高6年間の一貫したカリキュラムを実施しています。また本校は、国際バカロレア「ワールドスクール、スーパーサイエンスハイスクール、ユネスコスクールなどの「顔」もあります。本校の教育は、これらのリソースを効果的に組み合わせ、世界で生き、世界に貢献できる次世代のリーダーを育てています。
今まで経験したことのない課題が次々と国境を越えて発現する現代社会にあって、課題の本質を見極め、しっかりと問題解決できる子供たちを育てたいと、それが本校の使命です。

生徒人数	約720人	帰国生の割合	約40％
学年・クラスの人数	約120人（1クラス約30名）	帰国生が来る国と地域の数	50以上

IB World School 国公立学校初のIB認定校

IBのMYP（中等教育プログラム）とDP（ディプロマプログラム）の認定校。中等教育学校として6年一貫教育を実践

IB（International Baccalaureate 国際バカロレア）とは？

国際バカロレア機構（IBO）が提供する国際的な教育プログラム。世界の複雑さを理解し、そのことに対応できる力、そして未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けた生徒の育成を目的としています。

1年（中1）　2年（中2）　3年（中3）　4年（高1）
MYP
4年：PP パーソナルプロジェクト

5年（高2）　6年（高3）
一般プログラム
DP
6年11月：DP最終試験

卒業後
さらなる学びへ
多様な選択肢とチャンス
国内大学
国内大学

DP生の実績IBディプロマスコア平均点（45点満点）

2018-2020 世界平均	2018-2020 日本平均
32.26 TGUISS	28.53 WORLD

ディプロマ資格取得率

2018-2021 ディプロマ資格取得率 世界	2018-2021 ディプロマ資格取得率 日本
100％ TGUISS	71.56％ WORLD

MYP（Middle Years Programme）

1～4年の4年間　全生徒が対象

8つの教科群

●言語と文学（国語）●言語の習得（外国語）●個人と社会（社会／地理歴史・公民）●理科（理科）
●数学（数学）●芸術（音楽・美術／芸術）●保健体育（保健体育）●デザイン（技術・家庭／情報）

Social Action活動の例

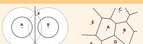
MYPのカリキュラムの一領域である社会貢献活動を本校では「Social Action」と称し、生徒の積極的な行動を促しています。生徒は地域・環境・難病など、様々な社会課題に関わる NPO・NGO・ボランティア団体のイベントにスタッフボランティアとして参加したり、自分たちでボランティア活動を企画したりすることで、自分たち自身も学びながら多くの活動を支えています。

MYPのユニット例

【数学の単元】2年生：図形領域（垂直二等分線の作図）

＜探究テーマ＞ AEDで救える命を増やそう

AEDは街の問題で設置すればよいでしょうか。
また、どのAEDを取り行けばよいかがわかる「AEDマップ」をつくりましょう。



地点A は、B とCからのAEDが近いの？

円の交点を結んで直線が垂直に交わる！

AEDマップ（ボロノイ図）

1台のAEDがカバーする範囲がわかる！

【主な活動内容】
●（3分以内に取りに行って戻ってくる）という条件を設定し、
　AEDの適切な設置間隔を決める。
●身近な地域のAEDが 300m間隔で設置されているかを、
　地図上に円を描く方法を用いて考察する。
●住人の年齢構成などのデータを読み取りAEDが必要な場所の条件を考える。
●このAEDを取り行けばよりかがわかる「AEDマップ（ボロノイ図）をつくる。

教科内容と
実社会との関連性を重視
実社会の問題を数学的に解決したり判断したりする力の育成を目指す授業

AEDを中心に円を描く方法について説明する生徒

DP（Diploma Programme）

5～6年の2年間　各学年約15名

6教科7科目　3科目を英語で、3科目を日本語で学びます。

●言語と文学【日本語A:文学HL】【English A: Language and literature HL】
●言語の習得【English B HL】●個人と社会【歴史HL】●理科【化学SL】
●数学【Mathematics: Applications and interpretation SL】●芸術【Visual arts SL】
※【English A: Language and literature HL】と【English B HL】はどちらかの選択になります。
※ 文系に特化したコースです。

HL＝Higer level: 上級レベル
SL＝Standard level: 標準レベル

3つのコア

TOK	EE	CAS
(Theory of knowledge) 知の理論	(Extended essay) 課題論文	(Creativity, activity and service) 創造性・活動・奉仕

少人数でチャレンジに満ちた専門性の高い学習を行い、IB ディプロマ資格を取得します。

探究活動が自らできる生徒を育成するシステム

生徒自らが研究を行えるようになるために必要な能力。それを身につけるための環境をご用意しております。

Input　【国際教養】視野を広げ、実践力を身につける！

「国際教養」とは、国際社会の中で共生・共存できるを育成するために設定された本校独自の学習領域であり、6年間を通して、各教科の枠を超えた現代的課題を多様な観点から学び、プレゼンテーションやディスカッション運営などのスキルを磨きます。外部の方をお招きして講演会を開催したり、生徒自ら主体的なワークショップを企画、運営したりしながら、視野を広げ、実践力を身につけることができます。

※例年の流れです。変更になる場合があります。

ISSで研究する力をつけよう！

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
文献調査	学園祭・現代課題発表会①／国内WC①・事前学習・W・中の学習・事後学習	ビブリオバトル等 文献調査／アンケート調査 データ分析／統計グラフコンクール／インタビュー調査 データ分析／フィールドワーク／Internship／美術・FW／学園祭・現代課題発表会②／国語・国際教養FW／EGG／Canva／テーマごと実践・個人研究	学園祭・現代課題発表会③／国内WC②・事前学習・W・中の学習・事後学習／Personal Project プロポーザルの提出／Personal Project／社会・理科FW／課題研究・海外学び／課題研究			
量的データ分析						
質的データ分析						
現地調査						
Social action 社会貢献活動						

国際教養：3つの柱

国際理解：
自国の文化・他国の文化を含めて、多様な文化・社会の在り方について理解を深める。

人間理解：
社会を支える一員として、学校・地域・国・世界に生きる人々の生き方や社会の在り方について考え、思いやりの心を身につける。

理数探究：
身の回りや世の中の様々な事象を科学的視点からとらえ、社会に活用していく方法について考える。

PP（パーソナルプロジェクト）

パーソナル・プロジェクトは、4年生が取り組むMYPの集大成のプロジェクトです。生徒は、自分で選んだ創造的で革新的なゴールを達成するために、これまで様々な教科で学んだ知見やスキルを活用し、最後に下級生に向けてその内容を発表します。

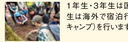
プロジェクト例：【絵本で解決!～子供の貧困問題～】【アボカドの種と変色の関係性】

課題研究

自ら研究課題を見いだし、適切な研究方法を実践し、自分自身による考察を通して新たな知見を得て、それを他者と共有することで課題解決に貢献します。後期課程の約2年をかけて研究を進めます。

研究例：「カカモノの社会貢献活動がより活躍できるネットワークモデルの構築」「一般化されたフィボナッチ数列の加法定理について」

WC（ワークキャンプ）



1年生・3年生は国内で、5年生は海外で宿泊行事（ワークキャンプ）を行います。

FW（フィールドワーク）

各教科の特別学習として、教室の外で、実際に見て聞いて体験することを目的にフィールドワークに出かけます。

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の取り組み

2014年度より文部科学省からSSH校に指定され、「（学びの本質）を探え、SOCIAL CHANGEをもたらす科学技術人材の育成」をテーマとした研究開発に取り組んでいます。4期数の実践を重ね、実社会の課題解決に資る科学、科学的なアプローチをその第一歩を踏み出す視点を生み出すために、探究的な学びや活動を実践しています。

SGH（スーパーグローバル&ハイスクール）の取り組みからWWL（ワールドワイドラーニングコンソーシアム）へ

2015年度より2019年度までの5年間、SGH に指定され「組織力（対話力）「実行力」をキーワードとして社会課題に対する解決力やコミュニケーション能力の育成に取り組みました。生徒の学びは多様な形で社会に発信することつながっています。現在はWWLの連携校として継続的に探究的な学び活動に取り組んでいます。

Output　【ISSチャレンジ】身につけたスキルを最終的に生徒自身が成果・結果として発揮！

個人やグループによる独自の研究活動の実践を目的とした、校内での課題研究コンテストです。全生徒が任意で参加です。1年間かけて取り組みます。毎年、ユニークな研究がたくさん行われています。

ISS年間予定					
	4月	オリエンテーション	5月	研究計画提出	9月 スクールフェスティバルでポスター展示
	10月	研究経過報告	1月	研究論文提出	2月 審査および発表会